

雲出川直轄河川改修事業

【再評価】

報告資料

(河川整備計画点検を受けての報告)

平成29年11月13日

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所

目次

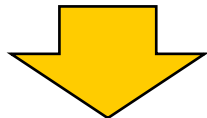
| | |
|----------------------------|----|
| 1. 流域委員会と事業評価監視委員会との関係について | 1 |
| 2. 事業の概要 | |
| 1) 流域の概要 | 2 |
| 2) 主要洪水 | 3 |
| 3) 事業の目的及び計画内容 | 4 |
| 3. 評価の視点 | |
| 事業の必要性等に関する視点 | |
| 1) 事業の投資効果 | 5 |
| 2) 事業費の変更 | 6 |
| 3) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 8 |
| 4) 事業の進捗状況、進捗の見込みの視点 | 9 |
| 4. 県への意見聴取結果 | 10 |
| 5. 対応方針（案） | 10 |

1. 流域委員会と事業評価監視委員会との関係について

事業評価の実施について

(国土交通省所管公共事業の再評価実施要領 第6の6)

河川事業、ダム事業については、**河川整備計画策定後、計画内容の点検**のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会での審議を行うものとする。

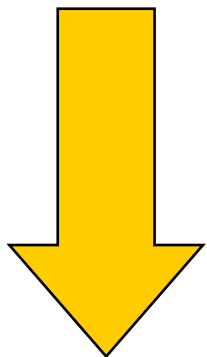


三重河川流域委員会での事業評価の審議について

(平成29年9月28日：第19回三重河川流域委員会)

(規約2条4項)

流域委員会は、河川整備計画に位置付けられる事業の計画段階評価、**再評価**及び事後評価（河川整備計画策定前の実施事業も対象）について審議を行う。

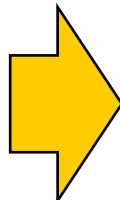


審議の視点

- 事業の必要性等に関する視点
 1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 2. 事業の投資効果
 3. 事業の進捗状況、進捗の見込みの視点

対応方針

事業の**継続**の方針



審議結果の報告

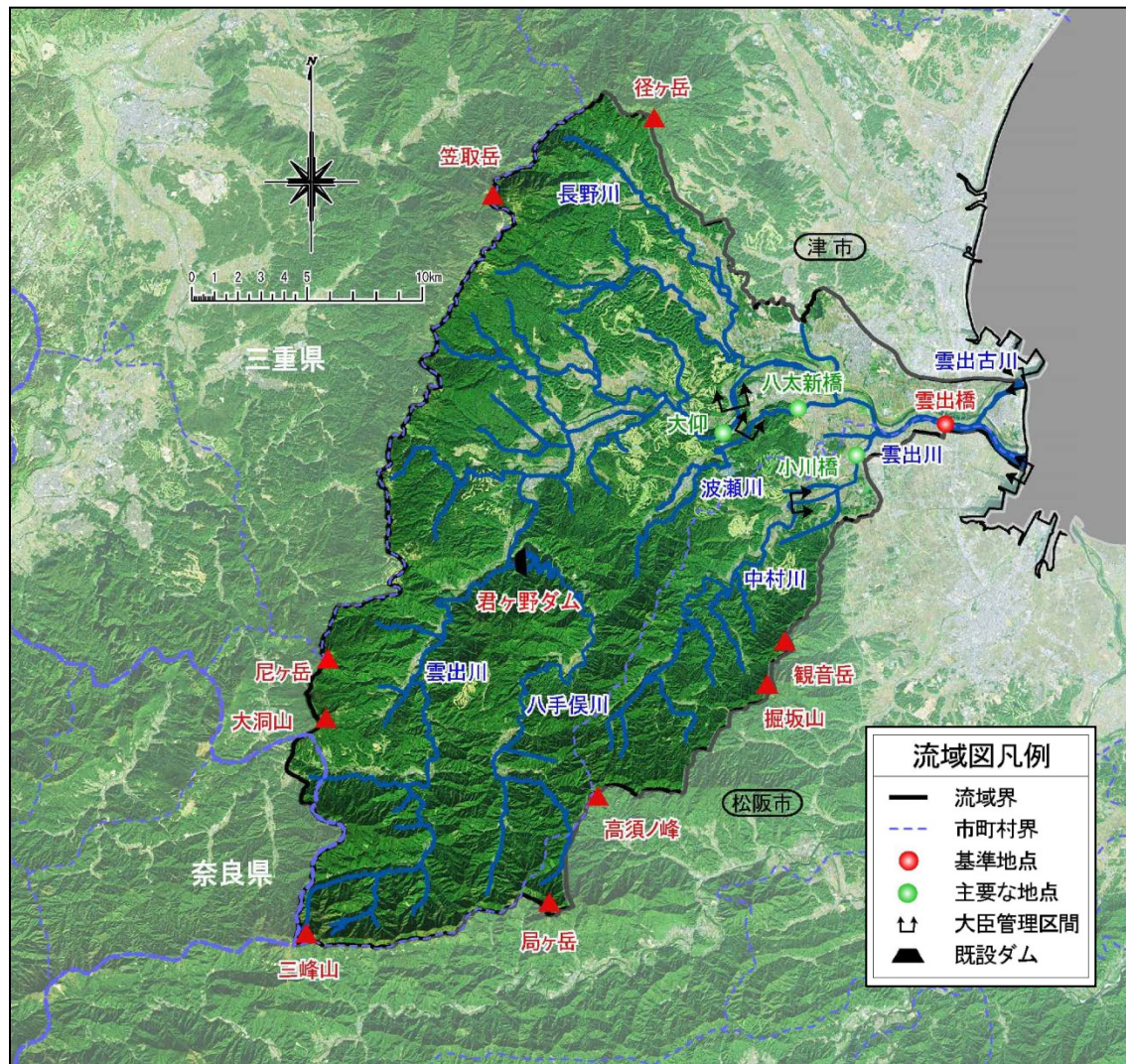
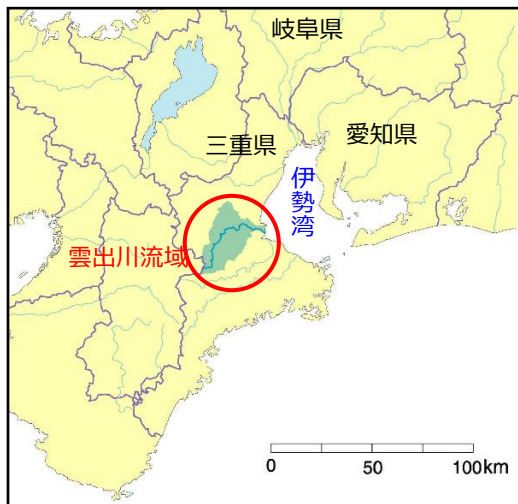
(河川及びダム事業の再評価実施要領細目 第6)

実施要領第6の6の規定に基づいて審議が行われた場合には、**その結果を事業評価監視委員会に報告**するものとする。

9月28日流域委員会における審議の結果

2. 事業の概要 1) 流域の概要

雲出川は三重県の中部に位置し、その源を三重県津市と奈良県宇陀郡御杖村の県境に位置する三峰山（標高1,235m）に発し、八手俣川等の支川を合せながら東流し、伊勢平野に出て波瀨川、中村川等を合わせて、その後、雲出古川を分派して伊勢湾に注ぐ幹川流路延長55km、流域面積550km²の一級河川です。



【雲出川流域の諸元】

| | |
|--------|----------------------|
| 流域面積 | : 550km ² |
| 幹川流路延長 | : 55km |
| 流域内人口 | : 約9万人 |
| 流域内市町村 | : 津市、松阪市 |

2) 主要洪水

過去の主要な洪水としては、昭和57年8月の台風第10号等、台風に起因する洪水が多く、近年においても大きな洪水が度々発生しています。これらの洪水では、大臣管理区間に存在する無堤部（築堤していない箇所）からの溢水により、浸水被害が頻発しています。

【主要洪水一覧】

| 発生年月 | 原因 | 流量※1 (雲出橋地点) | 被害状況※2 |
|----------|--------|-------------------------|------------------------|
| 昭和34年9月 | 伊勢湾台風 | 約4,400m ³ /s | 浸水面積2,531ha、被害家屋3,053棟 |
| 昭和46年9月 | 台風第29号 | 約2,900m ³ /s | 浸水面積1,121ha、被害家屋2,760棟 |
| 昭和49年7月 | 低気圧 | 約3,900m ³ /s | 浸水面積2,589ha、被害家屋 617棟 |
| 昭和57年8月 | 台風第10号 | 約5,400m ³ /s | 浸水面積 977ha、被害家屋1,426棟 |
| 平成5年9月 | 台風第14号 | 約3,600m ³ /s | 浸水面積 272ha、被害家屋 242棟 |
| 平成16年9月 | 台風第21号 | 約4,800m ³ /s | 浸水面積 786ha、被害家屋 120棟 |
| 平成21年10月 | 台風第18号 | 約3,900m ³ /s | 浸水面積 449ha |
| 平成26年8月 | 台風第11号 | 約4,500m ³ /s | 浸水面積 417ha、被害家屋 8棟 |

※1 流量は氾濫がないとした場合の計算値

※2 「水害統計」の値（但し、昭和34年9月、平成16年9月洪水は、三重河川国道事務所資料による）



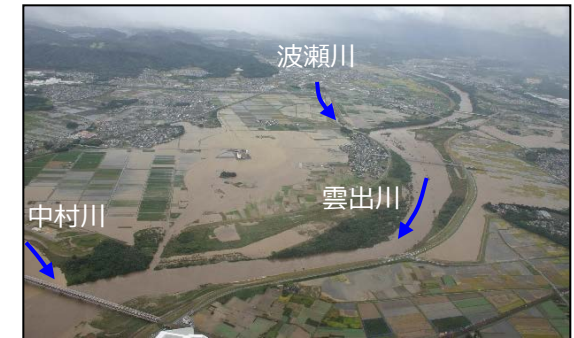
平成26年8月洪水
洪水流況（雲出川左岸7.4k付近）



昭和57年8月洪水
橋梁流出（雲出川4.0k付近：旧雲出橋）



平成16年9月洪水
堤内地浸水（雲出川右岸7.6k付近）



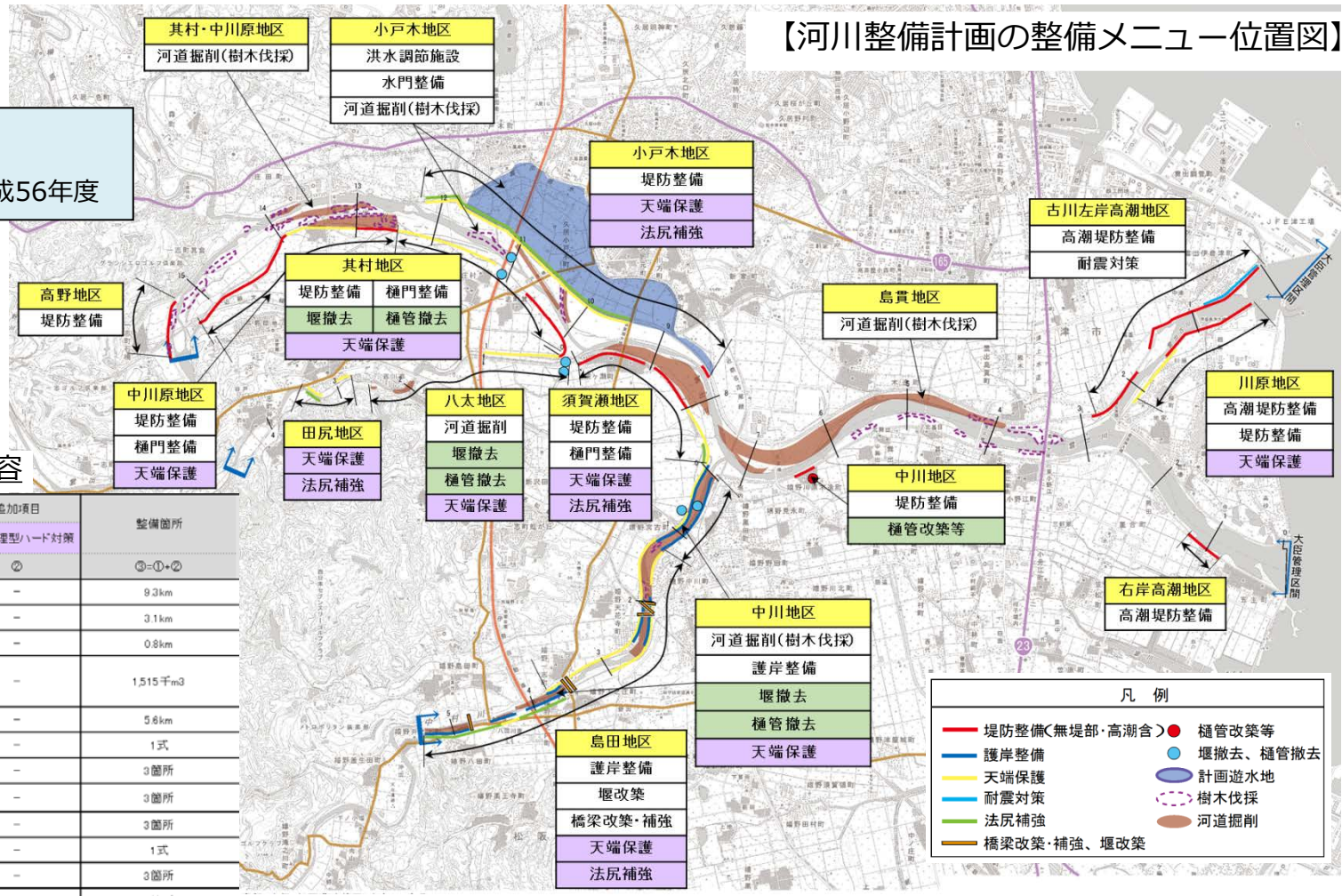
平成21年10月洪水
浸水状況（雲出川中流部）

3) 事業の目的及び計画内容

平成26年11月に策定した「雲出川水系河川整備計画」に、水防災意識社会 再構築ビジョンの取組を加えて、概ね30年間で段階的に整備を進めていきます。

【河川整備計画の整備メニュー位置図】

【事業概要】
 ・事業費： 304億円
 ・事業期間：平成27年～平成56年度



河川整備計画の主な整備内容

| 整備項目 | 整備計画 | 追加項目 | 整備箇所 |
|-----------------|----------------------------|------------|----------------------|
| | 堤改築の変更 | 危機管理型ハード対策 | |
| | 全体事業① | ② | ③=①+② |
| 堤防整備 | 9.3km | - | 9.3km |
| 高潮堤整備 | 3.1km | - | 3.1km |
| 耐震対策 | 0.8km | - | 0.8km |
| 河道掘削 (樹木伐採含) | 1,515千m ³ | - | 1,515千m ³ |
| 護岸整備 | 5.6km | - | 5.6km |
| 水門整備 | 1式 | - | 1式 |
| 排水橋門・樋管整備 | 3箇所 | - | 3箇所 |
| 堤改築 | 4箇所→3箇所 (黒田頭西工改築を撤去に変更) | - | 3箇所 |
| 橋梁改築・補強 | 3箇所 | - | 3箇所 |
| 洪水調節施設 | 1式 | - | 1式 |
| 堰撤去 | 3箇所 | - | 3箇所 |
| 樋管撤去 | 3箇所 | - | 3箇所 |
| 樋管改築 | 1箇所 | - | 1箇所 |
| 排水機場 | - | - | - |
| 水路整備 | 1式 | - | 1式 |
| 天端保護 | - | 12.6km | 12.6km |
| 法尻補強 | - | 4.8km | 4.8km |

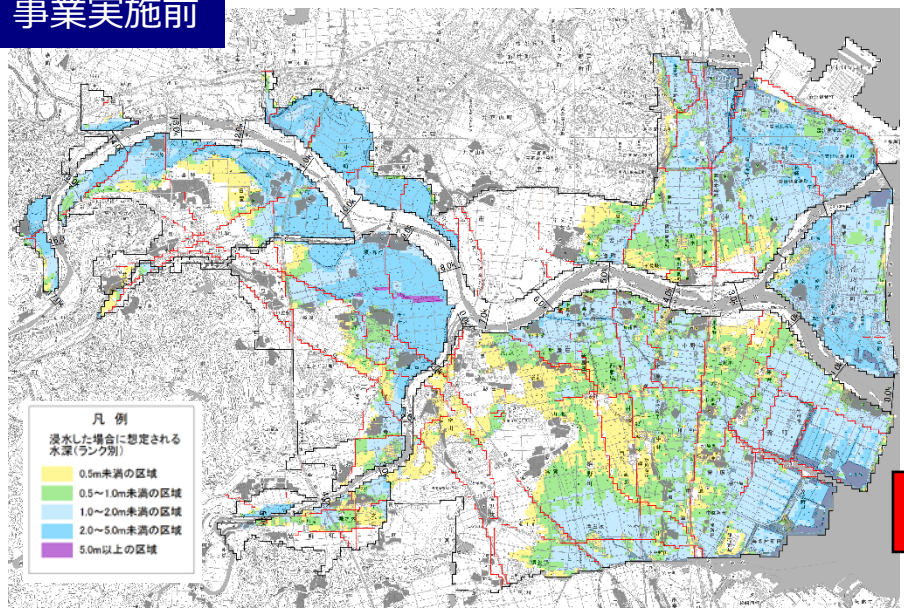
費用対効果 B/C = 14.4 (H26整備計画策定時)

3. 評価の視点 事業の必要性等に関する視点

1) 事業の投資効果

河川整備計画の目標規模の大雨（戦後最大洪水：昭和57年8月洪水）が降ったことにより想定される氾濫被害は、**浸水面積：約3,960ha**、**浸水区域内人口：約30,000人**、**浸水家屋数：約11,000世帯**であり、整備を実施することで家屋浸水被害は解消されます。〔浸水面積は約210haまで減少（農地浸水）〕

事業実施前



事業実施前の氾濫想定図
(整備計画目標規模)

事業実施後



整備後の氾濫想定図
(整備計画目標規模)

※右岸の浸水深や浸水範囲については、整備手法や手順について現在検討しており、それにより浸水状況が変化することになります。

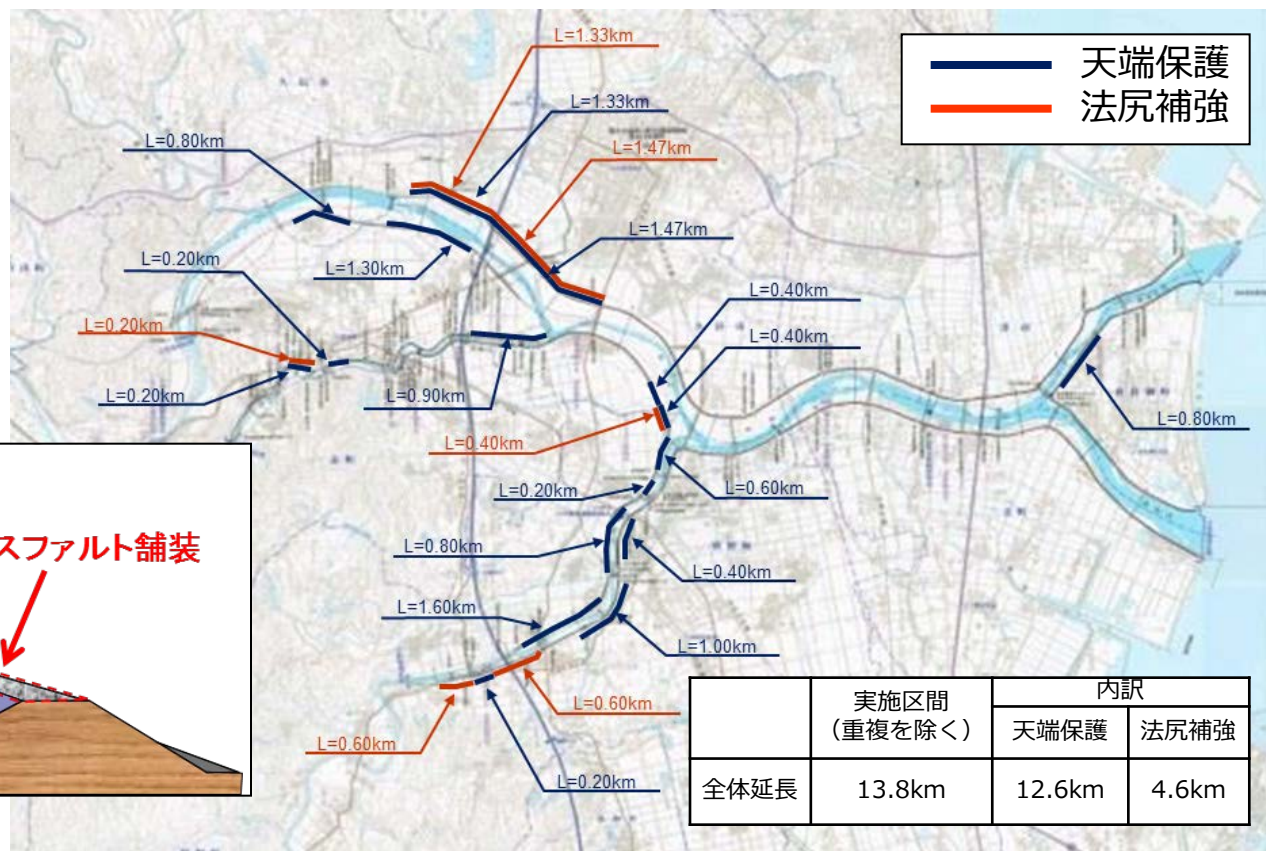
2) 事業費の変更

平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川において、平成32年度を目処に水防災意識社会を再構築する取組を行っています。

その取組の一環として、越水等が発生した場合でも避難する時間を確保するために、堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす『危機管理型ハード対策』を実施しました。

これにより、**約2.9億円**の事業費の増額が必要となりました。

◆危機管理型ハード対策の追加による増額・・・2.9億円

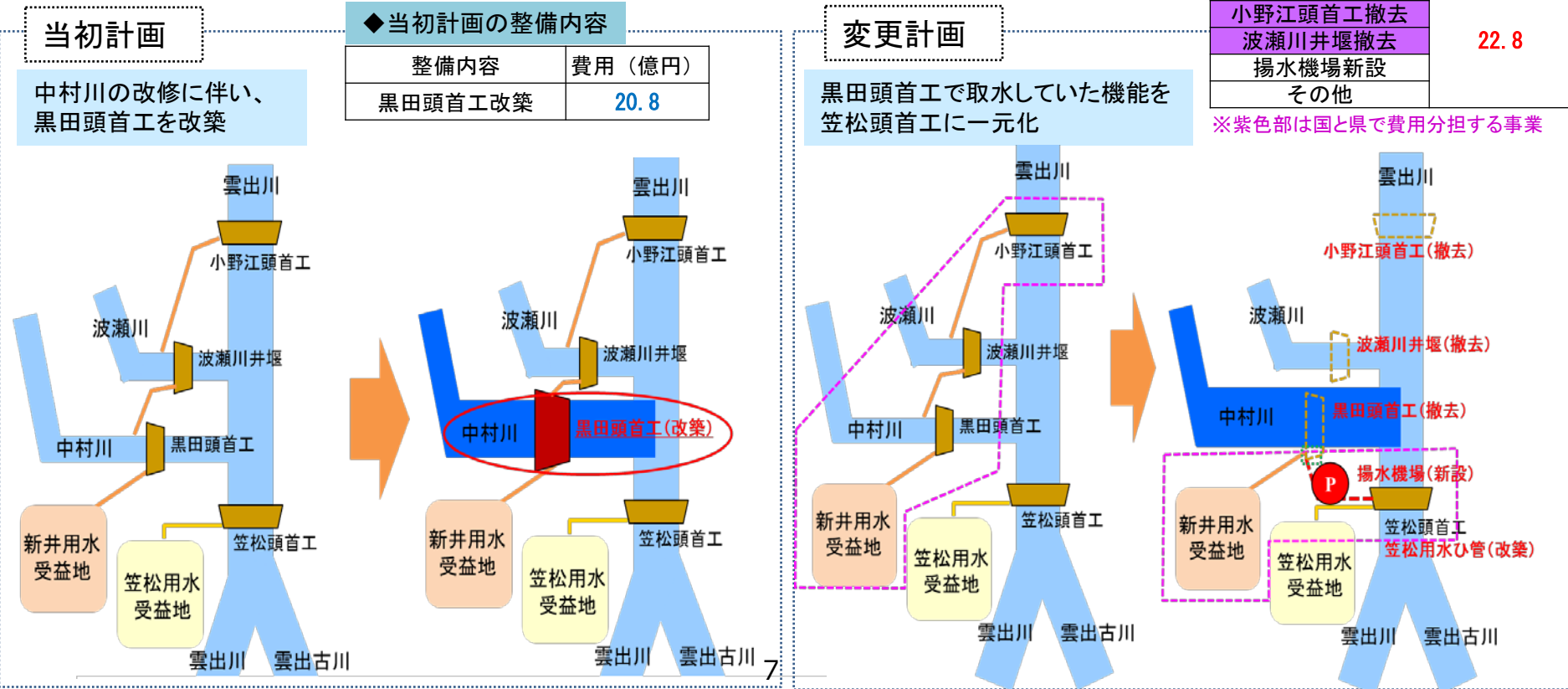


2) 事業費の変更

黒田頭首工は、整備計画策定時（平成26年11月）には、**単独の施設として「改築」**する計画でしたが、施設管理者である土地改良区と三重県、津市、松阪市と調整を行った結果、雲出川に現存する笠松樋管を改築することで**黒田頭首工と笠松頭首工を「統合」**する計画に変更し、**約2.0億円の増額**となりました。

「小野江頭首工」「波瀬川井堰」は、統合化しない場合、将来河川改修の支障となり河川管理者による改築が必要となりますが、現段階で統廃合すれば改築が不要となり将来的にコスト縮減が可能となることから、現段階において、堰の事業主体である三重県と費用分担を行い撤去を実施します。

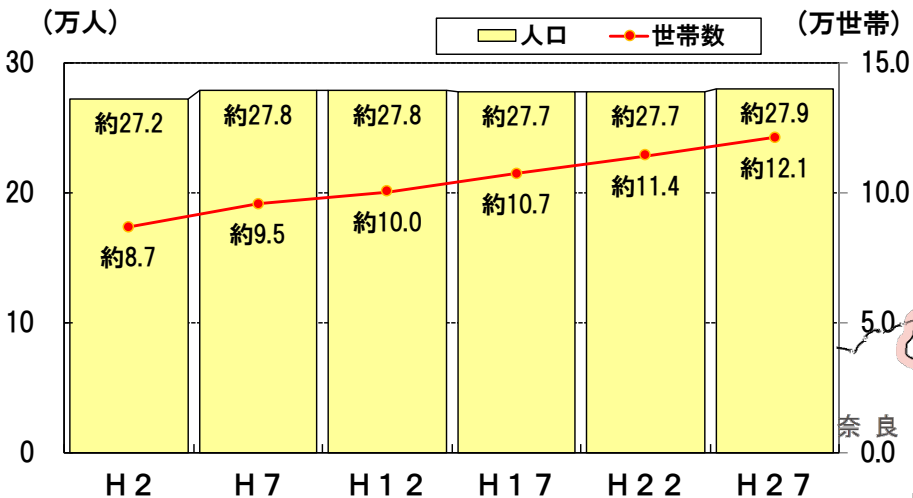
中村川の改修と取水施設の配置計画との事業調整に伴う事業費増加・・・2.0億円



3) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

流域内の人口は概ね横ばいで、世帯数は微増の状況です。また、伊勢自動車道、国道23号、国道165号、近鉄大阪線、近鉄名古屋線、JR名松線など、この地方の根幹をなす交通網があります。

津市臨海部には工業団地が立地するとともに、三重県の進めるクリスタルバレー構想に伴い、津市久居地区の「ニューファクトリーひさい工業団地」は完売し、企業の操業により更なる発展が期待される地域です。



関連市町の人口・世帯数の変遷

※津市（旧久居市、旧香良洲町、旧一志町、旧美里村、旧白山町、旧美杉村含む）

※松阪市（旧嬉野町、旧三雲町含む）

出典：国勢調査

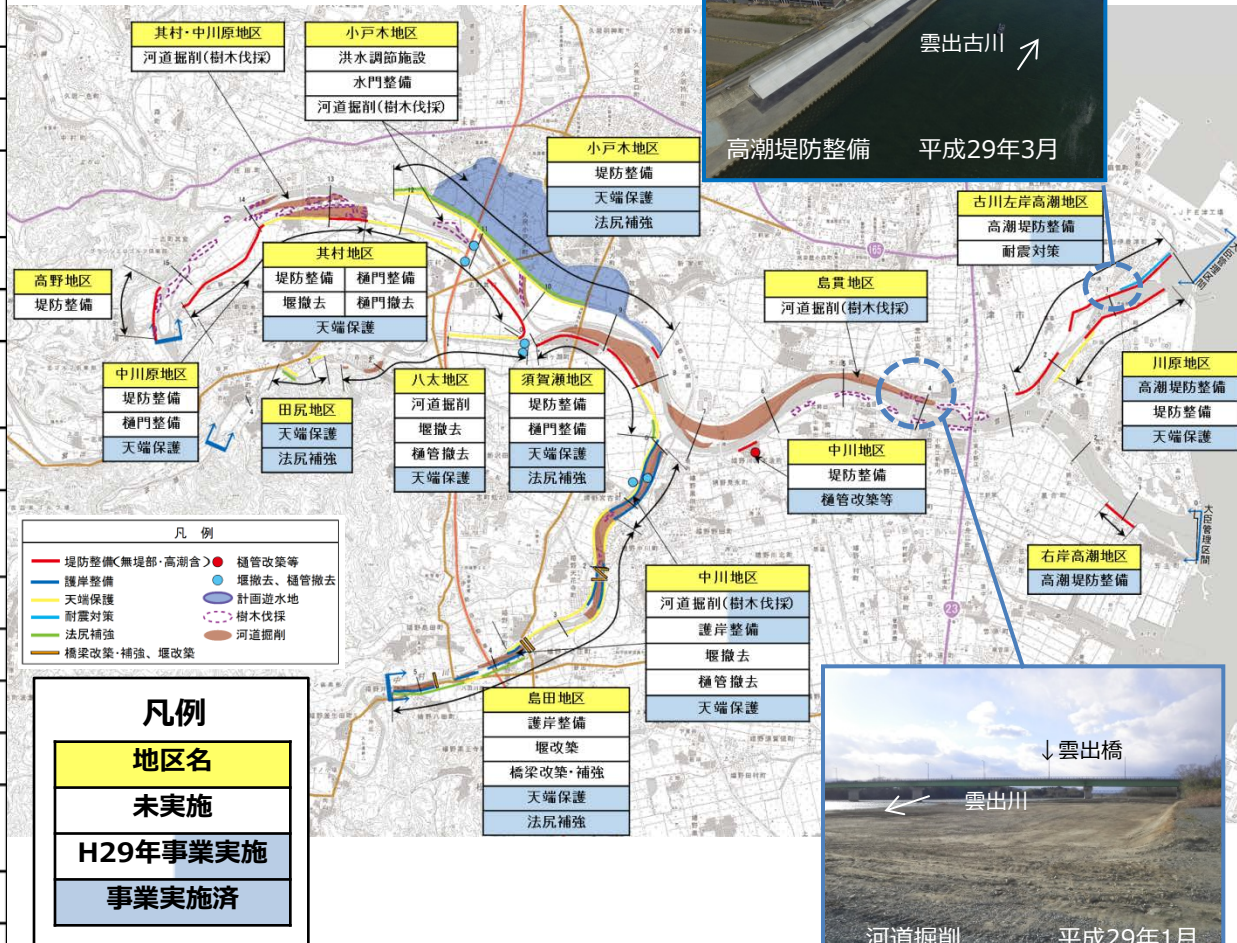


4) 事業の進捗状況、進捗の見込みの視点

雲出川では、基準地点の雲出橋地点において、高潮堤防整備、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、護岸整備を重点的に進めており、河川整備計画に基づく事業の進捗率は事業費ベースで12%程度です。堤防整備や河道掘削等を引き続き実施し、関係機関と十分な連携・調整を図りながら実施していきます。

| 整備項目 | 整備箇所 | H29年度末時点 実施箇所 |
|-----------------|--------------------------|--------------------|
| 堤防整備 | 9.3km | 0km |
| 高潮堤防整備 | 3.1km | 1.8km |
| 耐震対策 | 0.8km | 0.3km |
| 河道掘削 (樹木伐採含) | 1,515千 m ³ | 125千m ³ |
| 護岸整備 | 5.6km | 1.0km |
| 水門整備 | 1式 | 0式 |
| 排水樋門・樋管 整備 | 3箇所 | 0箇所 |
| 堰改築 | 3箇所 | 0箇所 |
| 橋梁改築・補強 | 3箇所 | 0箇所 |
| 洪水調節施設 | 1式 | 0式 |
| 堰撤去 | 3箇所 | 0箇所 |
| 樋管撤去 | 3箇所 | 0箇所 |
| 樋管改築 | 1箇所 | 1箇所 |
| 揚水機場 水路整備 | 1式 | 1式 |
| 天端保護 | 12.6km | 12.6km |
| 法尻補強 | 4.6km | 4.6km |

【事業進捗状況図】



4. 県への意見聴取結果

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 三重県 | <p>本事業は、雲出川中～下流部における治水安全度向上、及び南海トラフ地震による地震・津波被害を軽減するために重要な事業です。</p> <p>また、農業用河川工作物応急対策事業を実施中であるため、今後も引き続き、本県及び関係土地改良区と十分な調整をしていただき、雲出川水系河川整備計画に基づき効率的な事業執行により、更なるコスト縮減をお願いします。</p> |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

5. 対応方針（案）

以上のことから、雲出川水系河川整備計画に基づく、雲出川直轄河川改修事業を継続します。